竹松小だより

令和4年12月16日 大村市立竹松小学校

NO.30 校長 角野良介

学校教育目標 夢を持ち 創造性に富んだ 心豊かで 明るく元気な 竹松っ子の育成

いよいよあと1週間です



2学期もあと残すところ1週間となりました。子どもたちは冬休みが来るの を心待ちにしていることでしょう。終わり良ければすべてよし。最後の仕上げ を行い、気持ちよく冬休みが迎えられるように過ごすことを期待しています。

1年生がビオラとチューリップを植えました。卒業する6年生と入学してく

る1年生のために、今日も寒い中、水やりをしていました。この花が大きくなる時は、6年生の 旅立ちと新しい出会い、そして春の到来が待っています。冷たいけれど、その日まで「大きくな あれ!」と大切に育ててほしいです。

黒丸踊りのお話を聞く

黒丸踊りは黒丸町で500年前から伝わる踊りです。この度、ユネスコ無形文化遺産に登録されることが決定されました。国指定の無形文化財でもあります。

そして、黒丸踊りに竹松小学校の子どもたちもたくさん参加しています。先月あった「法養祭」ではテレビ局や新聞社も来て、子どもたちの雄姿がニュースでも取り上げられました。

さて、この地元の踊りを3年生が総合的な学習で 勉強しています。今回はその一環で黒丸保存会の前 川会長、松本副会長、そして、かっぱ王国の代表で もある久保さんが黒丸踊りの話をするために来てく ださいました。DVDを鑑賞したり、本物の花や鐘 などを身近に見たりと教室では経験できないひとと きとなりました。

来年は150周年記念で実際に踊りを見せてもら うことにしています。楽しみです。



メディアとの関わりを考える

長崎メディア安全指導員の朝長さんと長崎ファミリープログラムの戸島さんとのコラボで、PTA 講演会を開きました。テーマは「メディアとの関わり方」で、アイスブレーキングや付箋紙を使った話合いなどいつもとは違う形式でしたが、皆さん、時折笑顔でグループワークに参加されていました。PTAの懇談会でもこんな感じでできたら、保護者の方の知り合うきっかけになるのになあ。と思いながら見ていました。

打ち合わせから 本番まで、準備を していただいた PTA研修部の 皆様、ありがとう ございました。



「tetoru~テトル~」の運用が始まります

「テトル」は簡単に言うと、学校からのメール配信に加え、保護者の方からの連絡もできるというものです。はじめは欠席連絡などが中心になるかと予想されますが、ファイルを添付することもできるようになるので、使い方は広がっていくかと思います。

運用は3学期の頭から行います。まずは登録が必要なので、来週プリントを配布します。ご協力をお願いします。